

年	教育	成果・内容等	環境と開発	成果・内容等	その他
1947	第4回国連経済社会理事会 第2回国連人権委員会	国際人権章典起草のための委員会の設置 人権保障の目標ないし基準を宣言する人権宣言と法的な拘束力をもつ人権規約			
1948	第3回国連総会	世界人権宣言—「我々がすべての者は、教育を受ける権利を有する」			
1949	第1回国際成人教育会議(エルシノ/ノ) by UNESCO				水俣病確認
1954					四日市ぜんそく
1959					
1960	第2回ユネスコ国際成人教育会議(モントリオール)				
1961			「国連開発の10年」開始		四日市喘息被害
1965	ユネスコ成人教育委員会	生涯学習論(ポール・ラングラン)	国連開発計画(UNDP)発足		ベトナム戦争本格化
1967					四日市ぜんそく・新潟水俣病提訴・公害対策基本法
1968	国際人権年				(公害対策基本法)
1969					水俣病提訴、公害白書
1971			第2次「国連開発の10年」開始		環境庁発足
1972	第3回ユネスコ国際成人教育会議(東京)		国連人間環境会議(ストックホルム)	人間環境宣言・環境国際行動計画(かけがえない地球-Only One Earth)→環境問題が人類に対する脅威であり、国際的に取り組む必要	ローマクラブ 第一次方報告書 —成長の限界—
1973			国連環境計画(UNEP)発足		第1次オイルショック
1975		国際環境教育専門家会議(オオグラード) by UNESCO 国際環境教育プログラム(IEEP) by UNESCO+UNEP 1975-1995		ベオグラード宣言—環境教育プログラムの指針とする原則・認識、知識、態度、技能、評価能力、参加という6つの目的 環境教育における国際協力、協同計画、情報交換、教育資源、環境教育のための新しい方法、教材、計画の策定と評価、人材トレーニング	
1977		環境教育政府間会議(トリビニ) by UNESCO+UNEP		トリビニ宣言—現在及び未来の世代に対して開発と関連させながら環境を保護改善。環境教育は本来総合的な生涯学習で、現代社会の主要な問題への理解を通じ、倫理的価値に配慮した環境保護を行うのに必要な技能や態度の育成	
1980		世界保全戦略		国際自然保護連盟・UNEP-WWF(持続可能な開発)	アメリカ合衆国政府特別調査報告書「真摯2000年の地球」
1981		第3次「国連開発の10年」開始			
1982		国連環境計画管理理事会特別会合(ナイロビ) by UNEP		先進国と途上国との環境と開発をめぐる議論、環境と開発に関する世界委員会設置提案	地球的規模の環境問題に関する国際報告書
1984		環境と開発に関する世界委員会(ブルトラント委員会)発足			
1985	第4回国際成人教育会議(パリ) フィラ会議	学習権宣言—読み書きの権利、問い続け、深く考える権利、想像し、創造する権利、自分自身の世界を築く権利、度々をつづる権利、あらゆる教育の手立てを得る権利、個人的・集団的の力量を発達させる権利。基本的人権の一つである。	環境教育国際会議(モスクワ) by UNESCO+UNEP	ブルトラント委員会報告書「Our Common Future-地球の未来を守るために」→「持続可能な開発 Sustainable Development」	第1回清里フォーラム
1989	第44回国連総会 万人のための教育世界会議(ジュマティエン) by UNESCO+UNICEF+UNDP+HWP 子供のための世界サミット(ニューヨーク) 持続可能な未来のための大学学長会議(ULSF) 「国際識字年」	子どもの権利条約 初等教育の普遍化、教育の場における男女の就学率の是正等を目指して掲げた「万人のための教育宣言」及び「基礎的な学習ニーズを満たすための行動の枠組み」 タワワール宣言—大学における環境政策			日本環境教育学会設立
1991			第4次「国連開発の10年」開始		
1992			環境と開発に関する国際連合会議(地球サミット) 「リオ宣言・アジェンダ21」 「第30歳宣言・公衆の認識、訓練推進」	リオ宣言・アジェンダ21 「世界食糧安全保障に関するローマ宣言」と「世界食糧サミット行動計画」	ローマクラブ 報告書続編—眼を見張る一未来のための選択
1993	世界人権会議(ウィーン) 国際大学協会第9回大会会議	ウィーン宣言(国連成人権高等弁務官事務所)の設置、人権条約)	持続可能な開発委員会(CSD)発足	持続可能な開発に関する京都宣言	
1994	特別なニーズ教育に関する世界会議(サマランカ) by UNESCO	サマランカ宣言—EFAに特別なニーズ教育を位置づける	国際人口開発会議(カイロ) 小島国連SIDSの持続可能な開発に関する国際会議(バルバドス)	人口問題が開発や女性の地位向上といった分野につながる 「バルバドス行動計画」	
1995	第4回世界女性会議(北京) 「国連人権教育の10年」開始	北京宣言—女性の平等、開発及び平和	世界社会開発サミットロベンハーゲン)	北京宣言—女性の平等、開発及び平和	
1996	21世紀教育国際委員会 by UNESCO	ドローラー報告書—生涯学習の視点から人類発展のための教育の在り方を幅広く検討し提言(学習の本柱)を知ることを、あつと、共に生きることを、人間として生きることを学ぶ	第2回国連人間居住会議(istanbul)「 世界食糧サミットローマ」 「国連貧困撲滅の10年」開始	「ハバトゥ・アジェンダ」 「世界食糧安全保障に関するローマ宣言」と「世界食糧サミット行動計画」	
1997	第5回国際成人教育会議(ハンブルク)	ハンブルク宣言—未来へのアジェンダ、第17章に環境との関連	環境と社会に関する国際会議(テサロニキ) by UNESCO	テサロニキ宣言—持続可能性という概念は、環境だけでなく、貧困、人口、健康、食糧の確保、民主主義、人権、平和をも含むものである。EFS(Education for Sustainability)	
2000	世界教育フォーラム(ダカール) by UNESCO+UNICEF+UNDP+WB+UNFPA	ダカール行動枠組み—2015年までの初等教育の普及化、2005年までの初等・中等教育における男女就学率格差是正等の目標を達成方針	国連ミレニアム・サミット(ニューヨーク)	持続可能な開発に関する世界首脳会議(環境開発サミット/ヨハネスブルグリオ+10 第57回国連総会)	地球憲章—Earth Charter(地球憲章委員会)
2001	GHEHP 「ボランティア国際年」	Global Higher Education for Sustainability Partnership/ユース・ネットワーク宣言	第5次「国連開発の10年」開始		
2002					
2003	「国連識字の10年」開始 国連大学・第1回ワンパング・グループ会合	ウプタント同盟(国連大、UNESCO、アフリカ科学アカデミー、国際科学会議、国際大学協会、ユニークスキャンパス、GHESP、アジア学術会議、第三世界科学アカデミー、ULSF、世界工学機関連盟)			DeSeCo=最終報告書 環境年から国連大学へ拠出金によりUNU-IASにESDプログラム転移—RCE
2005	UNESCO理事会、第60回国連総会 「国連ESDの10年」開始	DESD国際実施計画策定・承認			ESD関係省庁連絡会議設置 7RCEの認定
2006					国内実施計画決定 第1回RCE世界会議&提議
2007			第4回世界環境教育会議(アエメダバード)	ESDがメンタラ— アエメダバード宣言—Our vision is a world in which our work and lifestyles contribute to the well-being of all life on Earth	ローマクラブ 「Beyond GDP」 RCE兵庫—神戸認証
2008					
2009	第6回国際成人教育会議(ベレン)	Living and Learning for a Viable Future—The Power of Adult Learning	ESD世界会議(ボニ) by UNESCO 第59回世界環境教育会議(モントリオール) 国連持続可能な開発のための世界会議 (Rio+20) ブラジル		
2010					
2013	DESD最終年会合(ESDユネスコ世界会議、RCE世界会議)	The Global Action Programme (GAP) on Education for Sustainable Development			IPCC第5次評価報告書
2014					136RCE
2015			国連会議「持続可能な開発に関するサミット」		146RCE
2016					ESD支援センター ESD学会
2018			166RCE		
2019	第74回国連総会(ニューヨーク)	持続可能な開発のための教育・SDGs実現に向けて (ESD for 2030)			RCE大牟田が認証を受け、国内8地区
2020			「ESD推進ネットワーク全国フォーラム2020: SDGs実現に向けた一歩(1)」		
2021		178RCE(アフリカ中東14カ国35、ヨーロッパ21カ国45、アメリカ(南北)10カ国27、アジア太平洋15カ国71)	http://www.rcenetwork.org/portal/		
2022					IPCC第6次評価報告書